

業界別セミナー

製造業編

デジタル時代のサプライチェーン戦略 vol.2 ～不確実性をコントロールする供給体制を考える～

開催日時

2018年7月26日(木) 13:30 ～ 17:30 (受付開始 13:00～)

会場

オラクル青山センター (東京都港区北青山2-5-8)

地下鉄銀座線「外苑前駅」4B出口より接続

地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線「青山一丁目駅」より 徒歩9分

地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道駅」より 徒歩10分

参加料

無料(事前登録制) ※申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

参加対象

SCM、生産企画・生産管理、調達・購買、物流、経営企画、情報システム部門などの
担当役員及び管理職の方々

主催

日本オラクル株式会社、株式会社ビジネス・フォーラム事務局

企画・運営

株式会社ビジネス・フォーラム事務局

開催趣旨

テクノロジーの進化とグローバル化を舞台に、企業はどう戦うか。製造業のデジタル化やインダストリー 4.0の時代に拓ける大きなビジネスチャンス。一方、事業やサービスの競争・淘汰は今後もますます高まることが予想され、増大する不確実性の中で、競争力や事業環境の変化を支える豊富なキャッシュを生むためにも、企業経営には継続的な生産性の向上とコスト削減が求められています。そのような中で、チャンスとリスクの両面において、そして企業成長という観点からも、調達・購買部門が担う役割や責任は、時代の変化とともに大きなものとなっており、グローバルな競争環境の中で、トップマネジメントや他部門から絶えず進化・革新することが求められているでしょう。戦略的なサプライチェーンの構築、継続的なコスト削減、安定供給の実現、グローバルなリスク管理の強化やサプライヤー間の競争促進など、そのタスクは多岐にわたり、ビジネスの戦略的優位性を高めるためにも、調達部門が今よりも深く経営に参画することが求められる時代を迎えているのです。

当フォーラムは、「デジタル×グローバル時代におけるこれからの調達・購買戦略」をテーマに、調達戦略の今や先進の企業事例、また日本オラクルからはクラウドによる調達改革などについてご紹介させていただき、調達・購買部門から企業革新を生むキーフaktorや施策、また調達部門が抱える課題やデジタル化による変化なども検証し、その現在地と未来を考察するものです。



プログラム詳細・ご登録はこちらから

<http://www.b-forum.net/scm0726/>

お問い合わせ先・発送元:日本オラクル株式会社 〒107-0061 東京都港区北青山2-5-8
TEL:03-3518-6531 (受付時間9:30～18:00 ※土・日・祝日を除きます)

PROGRAM

13:00- 受付開始

基調講演

13:30
-14:30

グローバル競争力&収益性を高めるサプライチェーンの実現

- 失敗例に学ぶSCM改革 ～今、SCM戦略を改めて見直す理由
- デジタル×製造業 ～収益性・生産性向上の契機とするために
- つながる時代のSCM ～拡大する領域と将来の課題



株式会社サステナビリティ・コンサルティング 代表取締役 石川 和幸 氏

プロフィール 早稲田大学政経学部政治学科卒、筑波大学大学院経営学修士。アンダーセン・コンサルティング(現アクセンチュア)、日本総合研究所、等を経て、2006年サステナビリティ・コンサルティング設立。主な著書:『SCMの基礎』『在庫マネジメントの基礎』『図解生産管理のすべてがわかる本』(以上、日本実業出版社)『SCM経営を見える化で成功させる実務』(中経出版)『なぜ日本の製造業はもうからないのか』(東洋経済新報社)、ほか多数。



ゲスト講演①

14:30
-15:30

多機能に連携するサプライチェーンへの変革

- S&OPの限界 ～需要拡大局面におけるSCMと経営判断
- 不確実な需要に対するSCMと多機能連携 ～新製品のプロアクティブ需給マネジメント
- AIによる需要予測の可能性 ～未来を見据えて今、取り組むべきこと



株式会社資生堂 サプライネットワーク本部 山口 雄大 氏

プロフィール 東京工業大学大学院修了。在庫管理や配送などのロジスティクス実務を経験後、2010年から需要予測を担当。インバウンド需要予測の秘伝発明保持。学会や大学、企業などで需要予測をテーマとした講演を実施。著書に『需要予測の基礎』(日本実業出版社)がある。Web執筆記事「需要予測を狂わせる人の心のクセ」<https://m.newspicks.com/news/3089075/>



15:30～15:40 休憩

主催講演

15:40
-16:30

レガシーERPではデジタル・テクノロジーをビジネスに活かさない

- IoTやAIなどの最新テクノロジーをビジネスに活かしているか?
- [デジタル・スレッド(紐)]で、現場の見える化を業務効率化へ
- “次世代ERP”による現場と経営をつなぐデータ活用とは

日本オラクル株式会社

クラウドアプリケーション事業統括 ビジネス企画・推進部 SCM/ERP担当ディレクター 中島 透

ゲスト講演②

16:30
-17:30

グローバルサプライチェーンにおける克服すべき課題と着眼点

- 製造業を取り巻く環境と課題
- 組織間におけるコンフリクト ～企業における3つの大きな壁
- SCM改革のポリシー設定



パナソニック株式会社 関西渉外室 部長 増森 毅 氏

プロフィール 1983年、NEC入社。大手物流企業向けロジスティクスシステム構築に従事。1988年、松下電器産業(現パナソニック)入社。グループの物流システム統合やグローバルロジスティクス本部の立ち上げ、ソリューションビジネスなどに従事。現在は、パナソニック本社渉外部門で成長戦略・環境エネルギー・産官学連携などの政策提言ならびに官庁、自治体、企業、大学、経済団体との渉外活動を担当している。横浜国立大学大学院 国際社会科学府研究科修士(MBA)、財団法人日本ロジスティクスシステム協会認定 ロジスティクス経営士、サプライチェーン視点からの企業改革や組織間の合意形成などのセミナーも多数。主な著書(共著)に『ASEANの流通と貿易-AEC発足後のGMS産業地図と企業戦略-』(成山堂書店)がある。



※プログラム内容や時間は急遽変更となる場合がございます。予めご了承いただけますようお願い申し上げます。

17:30 終了